

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全・防災 <input type="radio"/> 維持管理 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質 （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	インフラウォールⅡ型	担当部署	福岡設計技術課
NETIS登録番号	-	担当者	川添 謙一
社名等	インフラテック株式会社	電話番号	092-474-2450
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>インフラウォールⅡ型は、弊社で長年販売してきたインフラウォールでは対応できなかった歩道用ガードパイプ(P種)基礎の一体型を目的として、開発した製品です。従来は、L型擁壁に別途現場打ちで防護柵基礎を設置していましたが、L型擁壁と一体型とすることで、コスト削減と施工の短縮が可能となります。</p> <p>P種対応の一体型L型擁壁の開発とともに、標準品、嵩上げ用のラインナップを揃え、マルチ対応道路用L型擁壁として開発いたしました。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>1) 幅広い用途に対応 「標準品」の他に「P種(フェンス基礎付)」、「KS(嵩上げ用)」を準備しています。それぞれコーナー加工、短尺加工が対応可能です。</p> <p>2) 擁壁高さ 製品の高さは100ピッチで、H=900～3000までご用意しています。</p> <p>3) 上載荷重 Q=10kN/m²(T-25相当)まで対応できます。</p> <p>4) 防護柵 歩行者、自転車用防護柵(種別P種)が取り付け可能です。 ※種別P種 設計強度: 垂直荷重590N/m 水平荷重390N/m 設置目的: 転落防止</p> <p>5) カーブ対応 標準品でR≥60mまで対応できます。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>インフラウォールⅡ型は、L型擁壁と歩道用ガードパイプ(P種)基礎を一体型にすることにより、従来の現場打ち擁壁に比べ、大幅なコスト削減と施工の短縮ができます。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>標準型、P種対応型、嵩上げ型の3種に対応。 いずれもH=900～3000mm</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 〇件（九州 〇件、九州以外 〇件） 自治体 〇件（九州 〇件、九州以外 〇件） 民間 〇件（九州 〇件、九州以外 〇件）</p>		

6. 写真・図・表

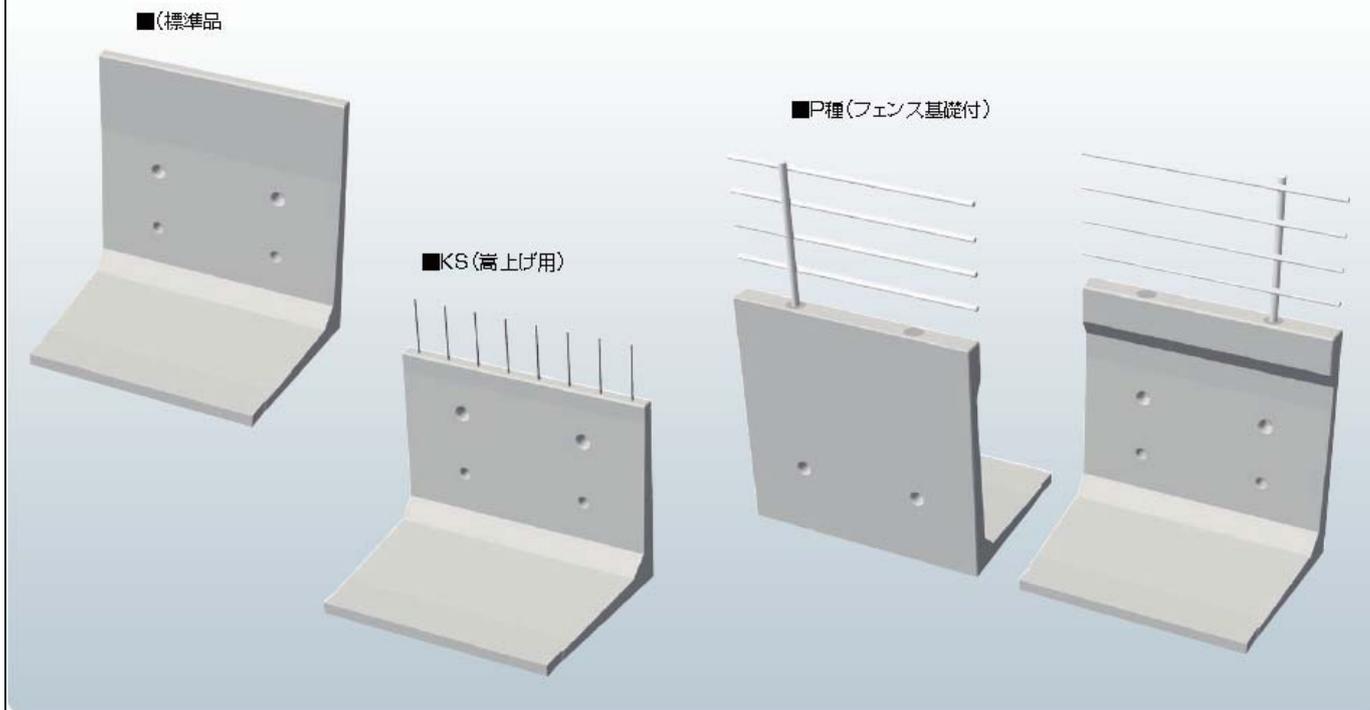


図1 製品ラインナップ

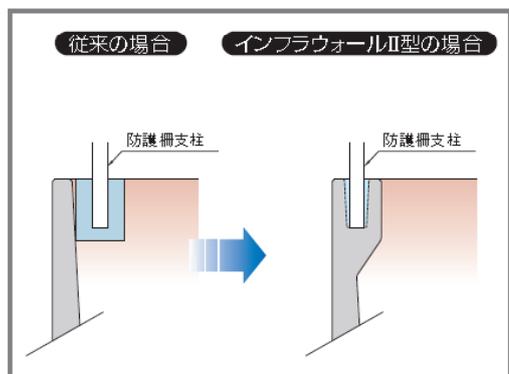


図2 P種対応

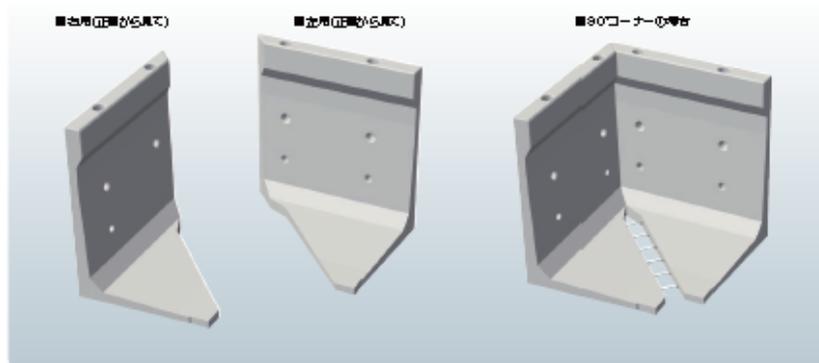


図3 コーナー加工